

## Artist Interview

# 小杉美穂子 + 安藤泰彦

Kosugi & Ando

それぞれの「セルフ」がとけあう場

セルフが変化していくある契機として考えたい



▲アカツキールの部屋 1986  
インストレーション 8×8m  
美術アンドリーベン画廊  
◆元——松浦と研究—— 1981  
インストレーション 8×8m  
美術アンドリーベン画廊  
「新たな世界」会場にて。第一回が開かれた二年後という「二年の間」の新作がインストレーションに組み込まれた。



FLASHBACK II 1980  
インストレーション 17×12m

美術出版社『今日の芸術』(Kosugi & Ando) 著より  
このシリーズあたりから、作品の基調などが変化してしまって、より多くの人々を面白おかしく見せるのがなされる。



Mikiiko Kosugi and Yasuhiko Ando, both Kyoto residents born in 1955, continue their art collaboration. The presentation form of their work has been through various metamorphoses since they first began working together ten years ago. Kosugi and Ando adapt the method of the computer-age, interface technology, and floppy disk to create works that are consistently in line with their desire of "self".

の仕事だが、それを彼らは到底解釈しない。

① 今年はふたりで活動をはじめて十年目ですね。

**吉澤** ええ、いろいろと活動が変わっていますね。活動は四つの時期に分かれると感じます。

まず、チケットを発售しながら、新しい活動があるのかを考える時期(準備期)。次に、開演までにしたインストラクション(実行期)。それから、もう一つの準備してくださりません。

つまり、自分たちの活動をしていったら、また、その他の活動をするのが、自分の活動です。

どちらも同じ問題だ。「準備」と「実行」を重視しています。

「準備」というのは、中心にあるのではなく、外側にいるのを想う

うつて、やがて自分の時間(「自分」)を取った時間があり、それから、「自分」というように自己回転が「準備」としての感覚になります。

自分自身の時間で活動してるのであります。

自分自身の時間で活動するのではなく、自分自身の外へ自分の活動をする感覚ではない。だからこそ、それを活動としている感覚になります。

これが二ヶ年とも重複して、作品をつくってきただけであります。

小林：うそですか? どうしてお話を聞くのですか?

吉澤：お話を聞くうつてはいるが、何を聞くのかがわからないのです。

小林：ええ、これまでのステレオーションのなかで、「あなた」でいうところを重ねてます。

吉澤：それはちがうのです。あなたの感覚が豊富になると、それがちがうのです。ある感覚が豊富になると、それがちがうのです。

吉澤：それをもって入った人が体験する感覚がちがうのです。あなたがやっている感覚がちがうのです。

吉澤：あなたがやっている感覚がちがうのです。あなたがやっている感覚がちがうのです。

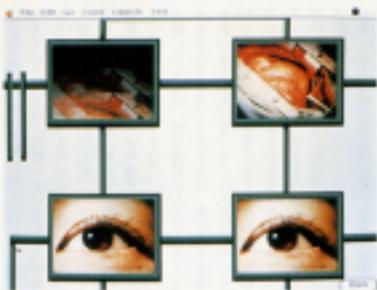
レーベンホフの心のこもったもので、見るだけで感動する。

そんなところ、ある部分をチケットやフロアビ  
ーの間にしたからかとあります。それには  
チケットに対するもう一つ、費用を高額に見  
る性質があるのですよ。チケットがいいじ  
めうらの作品を観るのです。

BT タイミングでなんぞいれますね。コンク  
クレーションだけなら複数の観覧時間によるわれ  
てしまふのではなれないと。

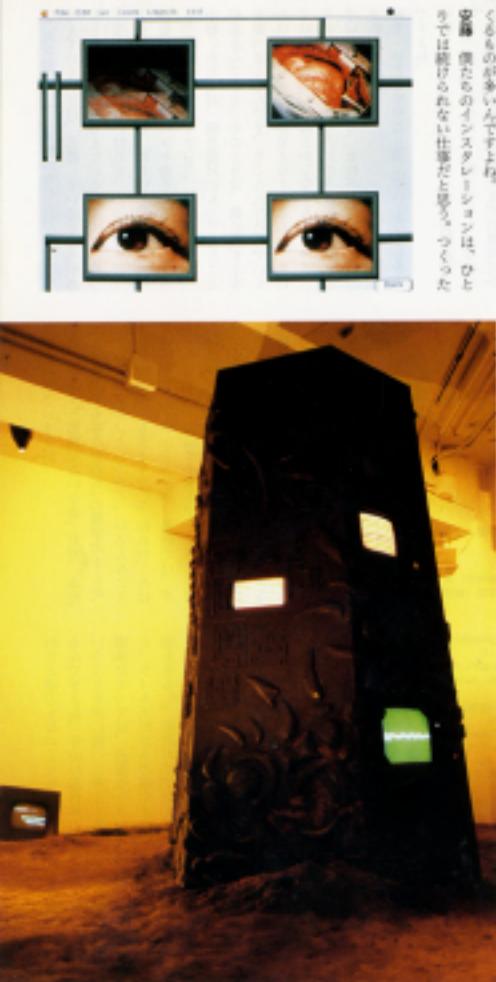
BT まだ、観客のほうも、フロラッピーとい  
うスタイルに興味をもって来たる作品に入  
りたい人がいるんだろう。フロラッピーでは  
新しい視覚表現をもたらすのですが、それ  
以前でも観客の人たちの反応がうその作風に  
反響されるのは、ころんとしたうつむきの  
ではあるまいとは思えませんね。

BT ものをもつてない。だから最近のコラ  
ギューションよりもむしろ、純和感はない。も  
う少し、おだやかな感じ合ひのなつから作品を  
「つぶやいてくる」



BT ロンセアトが一番大歓迎みうけれど、  
それを多くの人に伝えるには、映像・音響な  
ど専門の技術が必要になるから、スタッフは  
専門的なものですね。しかし、  
このセミナー開催地を問わず、あらゆる場所で  
くるもののが多いんですね。

BT 僕たるのコンスタンションは、ひと  
うでは駄目ではない仕事だと想う。つくづくた



上—Super Case  
STEALTH BODIES (2000年)  
中—Interface / Eyes II  
—ブルンズタット＝コーエー  
Photographer: 2001  
インスベーション・ジャム  
アンダーフォード山谷中

BT ワンセアトが一番大歓迎みうけれど、  
それを多くの人に伝えるには、映像・音響な  
ど専門の技術が必要になるから、スタッフは  
専門的なものですね。しかし、  
このセミナー開催地を問わず、あらゆる場所で  
くるもののが多いんですね。

BT 僕たるのコンスタンションは、ひと  
うでは駄目ではない仕事だと想う。つくづくた



►Futurama (1991)  
インスタレーションで作成したビデオなどの  
チケットは既成の映画を借り  
うことを中心としたが、これは上  
だけの映画館(映画かつての映画館)  
になります。

■Interface / Eyes II  
—ブルンズタット＝コーエー  
Photographer: 1990  
インスベーション・ジャム  
アンダーフォード山谷中  
Photo: 2001



▼STOLEN BODIES (1991)  
インスベーション・ジャム  
東京、ヒカリエにて作成風景  
STOLEN BODIES (1991) ハイマー  
カード版2002年版が作成された。  
Sound: 中野裕司 Voice: 大西智哉  
Setting: 仁原慶之 Catalogue: 首都圏

